

■市町村における児童虐待防止対策の取組状況（平成30年度）

公表イメージ

項目	A市	B市	C市
<基本的データ>			
年少人口(0～17歳)	35,000人	15,000人	7,000人
出生数	2,500人	1,100人	500人
児童虐待相談件数(市町村受付分)	200件	70件	40件
進行管理件数	300件	100件	50件
<母子保健分野の状況>			
母子健康手帳の交付(妊娠届出)時の保健師の面接実施率	100%	0%	100%
乳児期(3～5ヶ月)健康診査受診率	92%	88%	98%
同未受診児の現認率	75%	55%	95%
1歳6ヶ月児健康診査受診率	88%	80%	95%
同未受診児の現認率	55%	30%	90%
3歳児健康診査受診率	82%	75%	88%
同未受診児の現認率	20%	10%	95%
母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画	○	×	○
<子育て支援事業の状況>			
こんにちは赤ちゃん事業の実施	○	×	○
同事業の訪問率	85%	—	75%
養育支援訪問事業の実施	○	×	×
同事業の年間訪問件数	50	×	×
ショートステイ事業の実施	○	○	×
一時預かり事業の実施	○	×	○
児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	800件	100件	120件
民生・児童委員と連携した児童虐待対策の取組	乳児家庭全戸訪問事業	—	○○の実施
<広報啓発の状況>			
オレンジリボンキャンペーンの実施	○	○	×
啓発の方法等	広報紙掲載2回	—	HP掲載
<児童虐待への対応状況>			
要対協個別ケース検討会議開催回数	50回	5回	10回
家庭児童相談員の配置	○	○	○
児童虐待関連業務への実質対応職員数(A)	3.5	1.5	0.5
実質1人当たり職員の虐待対応件数 (児童虐待相談件数/実質対応職員数)	57.1	46.7	80
児童虐待対応のための体制拡充			
①職員の増員	○	—	—
②広報啓発の実施	○	○	○
③研修会の開催	○	—	○
④備品購入、改修等の県境整備	—	—	○
⑤乳幼児健診・未所属児童等にかかるシステム構築	—	○	—
⑥その他の体制拡充	—	—	○